

日蓮大聖人の言葉から学ぶ：蔵の財よりも身の財すぐれたり  
身の財より心の財第一なり

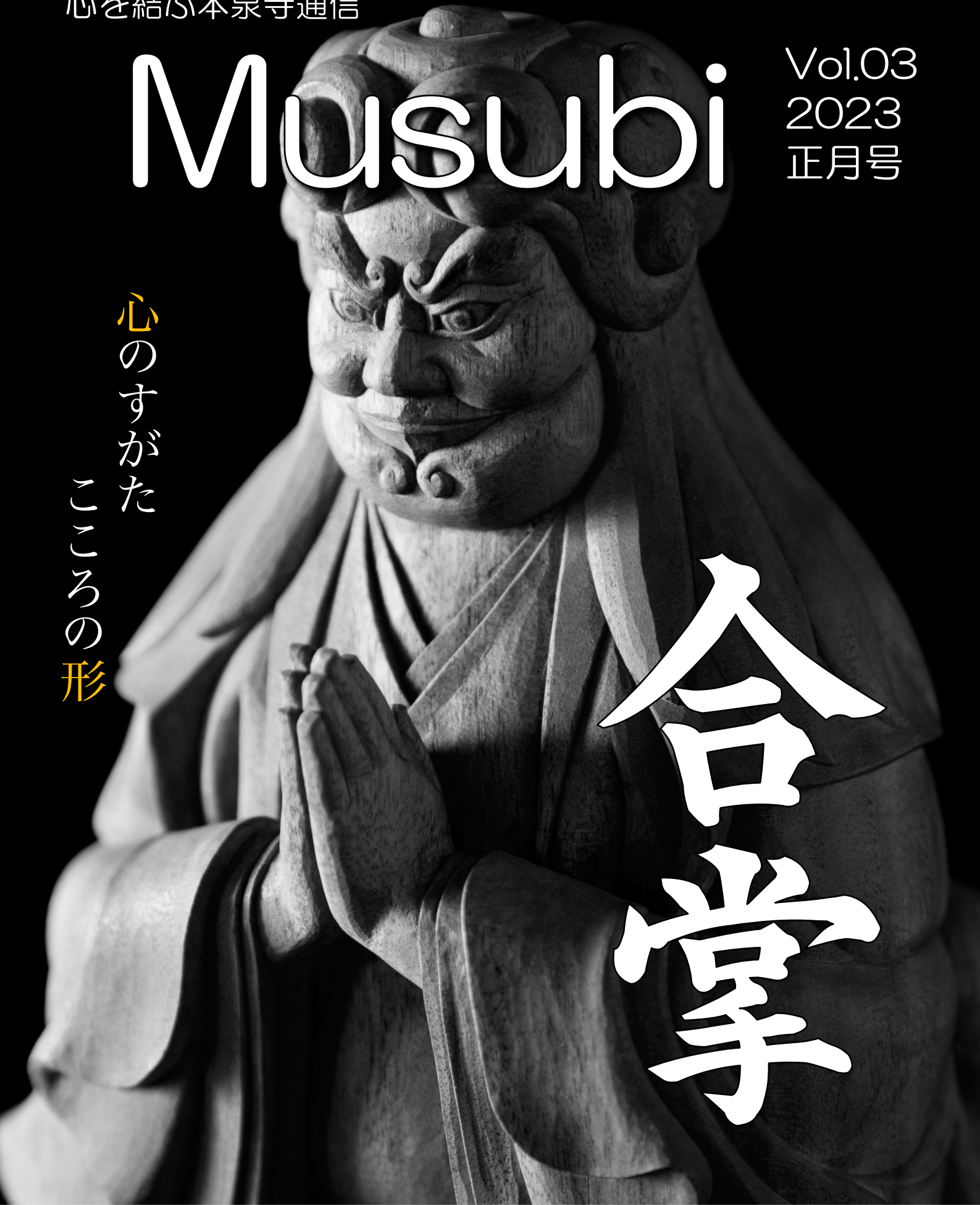
心を結ぶ本泉寺通信

# Musubi

Vol.03  
2023  
正月号

心のすがた  
こころの形

入  
合  
掌



令和5年（2023）の干支は十干が「癸」十二支が「卯」となり組み合わせると『癸卯』となります。

十干十二支には五行と言われる「木・火・土・金・水」の五つの性質があり、癸は水、卯は木の性質を持ちます。この水と木の組み合わせは「相性」と言われる組み合わせで、吉とされる関係性となります。

### ☆大地を潤す雨

癸は大地を潤す恵みの雨や霧などのイメージです。一方で卯は温厚さや従順さを意味します。

この二つの性質を併せ持つ癸卯はさつぱりとした落ち着きと面倒見の良さが特徴的な干支です。

2023



## 令和5年 運勢鑑定

ただ一方では、さつぱりと物事を見る為に細かいところを見逃してしまう大雑把さが出てしまうのも特徴の一つだと言えます。しかし、芯にも表面に

景気が好転、回復すると  
言われています。  
また卯の語源は「茂」  
で、草木が地面を覆い尽くし、冬の門を押し開いて春の陽気が外へ飛び出すイメージもあります。

# 飛躍と発展の年 実り多い春がやってくる

も明るさのある干支です。から、その大雑把さが悪い印象を与えることはないでしょう。

『癸卯』とは成長や飛躍の為の努力が十分に実り根吹き始める干支です。準備万端な人は良いスタートを、準備が不足している人は年の初めから努力を重ね、年内に大きな花を咲かせるようにしましょう。

### ☆卯が跳ねて景気回復

金融の世界では兎が跳ねる動物であることから

景気が好転、回復すると  
言われています。  
また卯の語源は「茂」  
で、草木が地面を覆い尽くし、冬の門を押し開いて春の陽気が外へ飛び出すイメージもあります。



令和5年度厄年早見表（数え年）

	前厄	本厄	後厄
男の厄年	24歳（辰） 平成12年生	25歳（卯） 平成11年生	26歳（寅） 平成10年生
	41歳（亥） 昭和58年生	42歳（戌） 昭和57年生	43歳（酉） 昭和56年生
女の厄年	18歳（戌） 平成18年生	19歳（酉） 平成17年生	20歳（申） 平成16年生
	32歳（申） 平成4年生	33歳（未） 平成3年生	34歳（午） 平成2年生
環厄 （男女）	60歳（辰） 昭和39年生	61歳（卯） 昭和38年生	62歳（寅） 昭和37年生

令和5年度吉凶早見表（令和5年2月4日～令和6年2月3日まで）

- 方位除け御札の星（運勢の弱い星）：一白水星・七赤木星  
一白水星：S11年、20年、29年、38年、47年、56年、H2年、11年、20年、29年  
七赤木星：S14年、23年、32年、41年、50年、59年、H5年、14年、23年、R2年
- 歳破殺除け御札の星（物事がうまくいかない星）：六白金星  
六白金星：S15年、24年、33年、42年、51年、60年、H6年、15年、24年
- 八方塞がり除け御札の星（特に満36歳と満72歳は要注意）：四緑木星  
四緑木星：S8年、17年、26年、35年、44年、53年、62年、H8年、17年、26年
- 除厄開運御札の星（困難が付きまとう星）：九紫火星  
九紫火星：S12年、21年、30年、39年、48年、57年、H3年、12年、21年、30年
- 運氣隆昌御札の星（一年が半凶・半吉の星）：五黄土星  
五黄土星：S7年、16年、25年、34年、43年、52年、61年、H7年、16年、25年
- 暗剣殺除け御札の星（他動的に攻撃される星）三碧木星  
三碧木星：S9年、18年、27年、36年、45年、54年、63年、H9年、18年、27年
- 開運招福御札の星（一年運氣好調の星）：二黒土星・八白土星  
二黒土星：S10年、19年、28年、37年、46年、55年、H元年、10年、19年、28年  
八白土星：S13年、22年、31年、40年、49年、58年、H4年、13年、22年、R元年

※1月1日から2月3日までの生まれは前年生まれとなります。ご注意ください。

☆生まれ星の吉凶の大事

全ての生まれ年には九星が配されています。この九星にはそれぞれ象意と呼ばれる作用があり、各星がどの方位に在泊するかによって一年の運氣や吉凶が決まるとされています。本泉寺の御寶前に鎮座している開運妙見大菩薩は星を守護する菩薩であり、善星を皆来し、悪星を退散させる仏様です。星廻りによる厄払い、吉凶星の祈祷は開運妙見大菩薩奉安の本泉寺で行いましょう。

※来年の厄払いは二月十日以降に受け付けます

星の神様妙見くんに聞いた

干支九星吉凶予報

来年2月までの予報だよ



妙見くん©



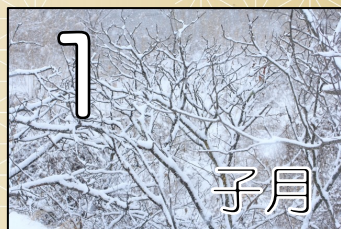
亥月

大吉・卯、未  
小吉・寅  
凶・寅、巳、申、亥

凶方位

五黄殺・南  
暗剣殺・北  
月破・南

卯と未は月の干支である亥から力を得ることが出来るから持つ力を大いに発揮しよう。亥年生まれの方は「自刑」の作用が出て凶となるから注意してね。（寅は吉凶両面あり）



子月

大吉・辰、申  
吉・丑  
凶・午、卯、未、酉

凶方位

五黄殺・北  
暗剣殺・南  
月破・南西

辰と申は「三合」の関係となり大吉。家庭を大事にすると運氣が好転するよ。午は「对冲」、卯は「無礼刑」で凶作用となるから油断しちゃダメだよ。



2

丑月

大吉・巳、酉  
吉・子  
凶・未、戌、午、辰

凶方位

五黄殺・南西  
暗剣殺・北東  
月破・南西

巳と酉は節分を過ぎたら金運アップの大チャンス。だけど、酉の人は年の干支「卯」の影響を強く受けるから無理は禁物。未、戌の人は病気に注意。

## 日本人と合掌

### 合掌

とは、両手のひらを胸または顔の前で合わせ、インド起源の礼拝の仕草（作法）です。

右の手は仏の象徴とされ清らかなものや知恵を表すとされます。

また左の手は衆生、つまりは自分自身を表し、不浄さを持つてはいるが行動力の象徴とされています。

この両手を合わせることにより、仏と衆生とが一体となり、仏への帰依を示す姿になるとされています。

### 現代

の日本に於いて合掌は『仏教の儀式の際に行われる行為』との認識が強いです。しかし実際にはお詫びやお願いをするときの仕草として使われていたり、食前食後の挨拶に合掌を用いるなど、日々の生活の中にしつかりと根付いています。

仏教由来の作法とされる合掌が「敬う」行為として常日頃から用いられているのは、長い歴史の中で培われた日本人と仏教の親和性の高さからも窺い知ることが出来るでしょう。



日蓮宗大本山清澄寺  
旭が森の日蓮大聖人像

# 合掌

心のすがた

こころの形





# 釈尊

が説かれた最上の  
經典である法華經  
には『合掌以敬心』など、  
随所に合掌する事の大事が  
説かれています。

これは、仏を礼拝し恭敬  
尊重の心を表すのに合掌が  
最も相応しいとされている  
何よりの証であり、本尊に  
対して合掌すれば信心とな  
り、先祖に対して合掌すれ  
ば報恩となり、自然環境に  
対して合掌すれば感謝とな  
り、人に対して合掌すれば  
尊敬となり、自分に対して  
合掌すれば自覚となるので  
す。このように森羅万象を  
尊び、全ての命に感謝を捧  
げる姿、それこそが合掌す  
る事の意義と言えるのでは

ないでしようか。

合掌をしている人の姿や  
形が美しく、また尊く見え

## 常不軽菩薩と合掌礼

く敬う心を未来へく



心静かに合掌すれば自らも  
仏となるのです

## 詩人

である宮沢賢治は  
法華經に説かれた  
常不軽菩薩に強い影響を受  
けていました。

常不軽菩薩とは仏法が廃  
れた世界でも「あなたを敬  
います」と合掌をし続けた  
一人の修行僧のことです。

るのは、心と体が仏そのも  
のとなり、その人が持つ仏  
の種（仏性）が開かれたか  
らに他ならないと言えるで  
しょう。

宮沢賢治は貧しくとも心豊  
かな生活を送るといふ信念  
を持ち、人々からどんな批  
判を受けても、その人々を  
敬う人間礼拝を続けまし  
た。それは正に常不軽菩薩  
の行法『但行礼拝』そのも  
のであったのです。

全ての人々の中に仏の姿  
を見ていた常不軽菩薩や宮  
沢賢治のように、人の中に  
ある仏の種（仏性）を敬い  
合掌する時、自身の中の仏  
の種が開き、自らも仏とな  
るのです。

〈連載〉

本泉寺見仏記

きぎょうきしぼじん

## 鬼形鬼子母神

第2回



### 鬼形鬼子母神立像

像高 四十三cm

奥行 二十二cm

大仏師 二代目木村鶴光作

他 一体あり

## 鬼子母神、十羅刹女、法華経の

### 題目を持つものを守護すべしと見えたり

#### 宗祖日蓮大聖人『経王殿御返事』

鬼子母神は、仏教を守護する天部の一尊である。

五百人の子を持つ母親だったが、これらの子を育てる為に人間の子を捕えて食べていた悪鬼神であった。

しかし、釈尊によつて五戒を守り、施食によつて飢えを満たすことを教えられた事で仏法守護の誓いを立て、子供と安産の守り神となる。

日本でも仏教の隆盛に伴つて、子供の無病息災や福德を求め、鬼子母神を本尊とする祈禱が盛んに行われている。

また、法華経において鬼子母神は十羅刹女と共に法華経

信仰者の擁護と法華経の弘通を妨げる者を処罰することを誓っていることから、日蓮大聖人は大曼荼羅に鬼子母神の名を連ねている。

日蓮宗では江戸後期になつて法華経陀羅尼品に依拠する祈禱が盛んとなり、祈禱の本尊として鬼面（鬼形）の鬼子母神像が多く造像されるようになるのだが、これは法華経の教えを世に広めることを妨げる者を威圧する「破邪調伏」の姿を表現しているときれる。

本泉寺の御寶前には祈禱本尊として総髪合掌形の鬼形鬼子母神像が2体安置されている。



## お寺の掲示板

### 開山四百年慶讃浄財奉納者芳名

○慶讃浄財奉納者の芳名と回数  
総口数を掲載致します。

令和4年8月

壺口 朝霞市 川端 登様

一回目 計壺口

式口 足立区 恩田明広様

一回目 計式口

壺口 葛飾区 恩田富美枝様

一回目 計壺口

令和4年9月

壺口 三郷市 山後和義様

一回目 計壺口

参口 八潮市 恩田一夫様

一回目 計参口

浄財奉納者の芳名は篤志記録簿に記載し、本堂御寶前に奉安の後、永く家運長久をご祈念致します。

### 住職入退寺奉告式厳修

秋晴れの十月二日、當山御寶前にて第二十七世退寺奉告並第二十八世入寺奉告式が厳かに行われました。先代住職は「長い間支えて頂いた事に感謝致します」と述べ、新住職は「まもなく開山四百年を迎える本泉寺の新しい歴史を檀信徒と共に作っていきたい。本泉寺が全ての人々の拠り所となるお寺になれるよう努力して参ります」と奉告し、参列の檀信徒に感謝の意を述べました。



当日は数十名を超える檀信徒の皆様にご参列いただきました。本堂は退寺する先代住職への労いと、新住職への期待を込めた拍手に包まれました。

# 日蓮大聖人の言葉から学ぶ

くら たから  
み たから  
蔵の財よりも身の財すぐれたり

み たから  
み たから  
身の財より心の財第一なり

【崇峻天皇御書】

日蓮大聖人が篤信者である四条金吾に宛てたお手紙の一文です。

四条金吾は北条一門に仕えるとても優秀な武士でしたが、とても短気で怒りっぽい性格でした。

これを案じた日蓮大聖人が「崇峻天皇」の故事を用いて、いかに正直で熱い心があっても、すぐに怒り、怒鳴り散らすようでは、仏天の護りは薄くなり、積み重ねた功德や向上した人徳でさえも短気によって一瞬で崩れ去ってしまうのだから、たとえ意に違うことがあっても、言動を慎むと共に努めて「心の財」を積むことが第一であると教えられたのです。

このお言葉は現代人にとっても大事な日常生活の行動を指南してくださるものです。

## 十一月以降の年中行事

○納甲子大黒祭

十一月七日（月）

○新年祝禱会

一月一日（日）

○初甲子大黒祭

一月六日（金）

○大荒行堂帰山奉告式

二月十九日（日）

※大黒祭は住職が荒行堂内にて厳修致します

※帰山奉告式の日程は変更することがあります



●今冬は大荒行堂へ入行致す都合により、来年の二月十日まで寺を留守に致します。法事などの法務は院首（先代住職）が行いますが、御祈禱や開運鑑定などはお受け出来ません。無事に帰山するまで暫くお待ち下さい。



第4号は令和5年春発刊の予定です

発行



HONSENJI

日蓮宗 妙福山 本泉寺

埼玉県八潮市二丁目1472-1

TEL:048-996-9843

FAX:048-999-1884

mail:info@honsenji.jp